

寄稿者：ヘレン・ダドリー (Coconut Grove RC [米国フロリダ州] 会員)



村の人たちに、手洗い、溜まり水をなくす方法、そのほかの健康・衛生習慣に関する研修も行いました(2022年2月)。ユンベ(ウガンダ)の仮ロータリークラブのZoom会議に出席したときのこと。クラブ会員たちが話し合うのを聞きながら私は涙を抑えきれませんでした。まだ国際ロータリーから正式に加盟認証されていないにもかかわらず、近くの村の人たちを助ける奉仕プロジェクトの計画をもう話し合っていたのです。しかも創立会員である女

村の清掃プロジェクトに参加するユンベRC(ウガンダ)会員。性たちは、貧困ラインを大きく下回っていました。会議を聞いていたほかの参加者にチャットを送ったところ、その人も涙が出そうだとメッセージが返ってきました。この仮ロータリークラブの22名のメンバーは全員、[TCP Global](#) から共同融資を受けている「Women's Village Savings and Loan Association (VSLA)」グループのリーダーたちです。子どもを学校に通わせ、家族が日に三食食べられるよう、定期的な融資を利用して商売を改善し収入を増やしていました。平均150ドルの融資を定期的に利用できる自分たちは恵まれている、そう感じた女性たちは恵まれないコミュニティのために奉仕するべきだと考えました。近くの村々から提案を出してもらい、衛生設備のないコミュニティにトイレをつくる奉仕プロジェクトを実施することに決めました。アフリカの人たちとZoom会議をするたびに、驚き、そして時に自分への恥ずかしさを感じます。私はその女性たちを過小評価していたのです。市場の行商人や自給農家たちから成るVSLAには奉仕プロジェクトを実施する能力も関心もないだろう、と最初から思い込んでいたのです。しかし、その思い込みが正しくないことを、何度も思い知らされました。TCP Globalのパートナーは通常、非政府団体(NGO)です。VSLAは30名から成るグループで、週に50セントほどを共同貯金して相互の融資を行っています。融資の価値を知ったメンバーたちは、もっと多額の融資を頻繁に利用したいと考えましたが、銀行口座もインターネットもなくTCP Globalが直接VSLAを援助することができませんでした。ユンベにある「ケア・コミュニティ教育センター(Care Community Education Center)が無償で財務を代行すると申し出てくれました。しかし、この方法は「みんなに公平か」と「みんなのためになるかどうか」のテストに見合っていないと思い、通常は融資を直接管理する団体に支払われる収入の一部をCCEDUCが受け取ることを提案しました。このプログラムの成功がみんなに公平であり、みんなのためになることが実証されたこの方法を通じて今では、CCEDUCを財務代行者としてマイクロローン(小口融資)を受けているVSLAの数は34に。女性たちは人びとに奉仕する力が十分にあり、またCCEDUCはその収入で女性たちの奉仕をしっかりと後押ししています。アフリカのマイクロローンのパートナーたちから届く動画には、ほかのコミュニティのVSLAにも同じようなサービスを提供してほしいというリクエストが頻繁に含まれています。ユンベでの最初の二つの融資プログラムを開始してから9カ月以内に、CCEDUCは15Km離れたスーダン難民キャンプでも二つの融資プログラムを開始し、これらのコミュニティでは、トイレのある家庭はわずか13%、安全な水源を利用できる家庭は48%平均収入は日に2ドル以下。それにもかかわらず、難民の人たちの力を信じて支援するその姿勢は裕福な米国市民の反応とはまったく対照的としか言えません。私たちはアフリカから多くを学ぶべきなのです。

週報

イマジン ロータリー

Imagine Rotary

ジェニファーE・ジョーンズ
2022-23年度 国際ロータリー会長

第2843号



NAHA
Rotary
那覇ロータリークラブ

令和4年
8月16日
2022年
AUG

第2967回 例会報告

例会記録・予定

出席報告

会 員 数	65名
出 席 免 除 会 員	0名
出 席 計 算 会 員	65名
出 席 会 員	30名
欠 席 会 員	35名
出 席 率	46.15%

欠席会員名 宮城、上原(義)、新垣(豊)、長山、与儀、平良(修)、新里、長嶺、許田、国吉、具志堅、渡辺、下石、新垣(安)、朱、宜保、白石、与那覇、上原(修)、新垣(竜)、安里(繁)、赤嶺、下地、佐久本、義元、吉野、佐藤、金森、芝垣、秋吉、飯島、首藤、河井、杉本、新垣(直)。

MAKE-UP 河井 耕治 <那覇西>

ゲスト・スピーカー

新城 恵子 氏 (国際ロータリー第2580地区 地区公共イメージ部門 部門長：浦添)

☆プログラム

8月23日(火)

「イニシエーションスピーチ」

河井耕治 法律事務所 所長

河井 耕治 会員

8月30日(火)

「会員増強月間に因んで」

国際ロータリー第2580地区

安里 政晃 地区会員増強委員長

9月6日(火)

「地区大会へ振替」

9/10(土) 12:00 受付開始 点鐘 13:00

場所：グランドプリンスホテル新高輪

登録料：¥12,000 (当日登録可)

9月13日(火)「演題未定」

拓南製鐵(株) 代表取締役会長

古波津 昇 氏

那覇ロータリークラブ

事務局 那覇市西3-6-1 (パシフィックホテル沖縄1階) TEL 868-1224 FAX 861-4918

E-mail アドレス naha-rc@ml.cosmos.ne.jp HP アドレス：<http://naha-rc.org/>

会長 金城 智誉 副会長/クラブ管理運営委員長/会長エレクト 亀川 偉作 副会長/クラブカウンセラー 名嘉 義明
幹事 津嘉山 伸 クラブ会報委員長 松元 剛 副委員長 与那覇 正明 委員 保田盛 清士

■ニコニコ BOX (*^*)

新城 恵子 地区公共イメージ部門長 (浦添)
今日は卓話の時間を頂きありがとうございます。みんなで楽しく意義あるポリオデーにしたいと願っております。

山城 博美 パスト会長

今月で入会満 10 年を迎えることになりました。これからも皆さんと共に魅力あるクラブをつくっていきましょう！2525。

鈴木 康友 会員

おかげ様で、コロナ罹患から無事復帰しました。これから久らくの間はコロナ無敵になります。

■特別会計 2022-23 年度 ニコニコ BOX

本日のニコニコ	¥7,000
ニコニコ BOX 累計	¥93,000

■理事会報告

①貧困世帯への食糧支援について

・りゅうちゃんランチサポートへ 8/15(月)～8/26(金)までの 10 日間、1 日 50 食×10 日計 500 食を寄贈する。(中村会員・義元会員各 250 食ずつ)

②オープン例会の開催について

・9/27 開催する。

③ポリオデー奉仕活動 (10/23) について

・浦添クラブより共催依頼があるが、当クラブは共催しない事に決定した。

④出席率向上のための取組について

・3ヶ月以上欠席会員リストを作成し、推薦者と共に出席するよう、声掛けして行く。

⑤那覇市へ車イス寄贈について

・比嘉直前会長に進めて頂く。

⑥野球同好会クラブ承認について

・承認された。また、那覇クラブにおける同好会についても全て承認された。

■幹事報告

津嘉山 伸 幹事

*8月の国際レートは、1ドル→133円です。

*ハイライトよねやま 269号が届きました。

回覧致します。ホームページでもご覧いただけます。

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (MPHF) 表彰・ピン贈呈



名嘉 義明 会員 (+3)



津嘉山 伸 会員 (+2)・比嘉 孝明 会員 (+1)

■会長報告

金城 智誉 会長

*2022-23 年度地区補助金の件、ロータリー財団本部から承認の連絡がございました。

今年度は「妊産婦宿泊型居場所事業施設へ車両寄贈」です。寄贈前には「おきなわ子ども未来ネットワーク」の山内代表理事より卓話を頂く予定です。

*夏休み中の子どもたちへのお弁当寄贈で、りゅうちゃんランチサポート(富田社長)を通してのお弁当寄贈が始まりました。今週は、1日50食、那覇セントラルホテル(中村会員)より合計250食、再来週はやっぱりステーキ(義元会員)より250食、合計500食のお弁当を寄贈致します。

■嶋村ガバナー慰労会のご案内 沖縄分区分事務所

ご案内先: 国際ロータリー第 2580 地区
2022~2023 年度 地区チーム嶋村
沖縄分区分 各 RC 会長・幹事 殿
沖縄分区分内 地区役員・委員 殿

日時: 2022 年 9 月 1 日 (木) 17:30 受付開始
慰労会 18:00~20:00 *申込締切 8/25 (木)

場所: ホテルパームロイヤル NAHA「プールサイド」那覇市牧志 3-9-10 TEL: 098-865-5551

会費: 7,000 円 (当日ご持参願います)

■10月24日の「世界ポリオデー」まであと2カ月足らずとなりました。

クラブや地区でのイベントの計画は進んでいますか? 「世界ポリオデーとは関係なくても、ポリオ募金は毎年やっている」とか、「なぜわざわざ世界ポリオデーにイベントをするの?」とお考えのクラブもあるでしょう。世界ポリオデーにちなんでその前後にイベントを行うことは、なぜ重要なのでしょうか。

1. 一斉に推進して認識向上の効果アップ

メディアは「…の日」とか「…デー」の話題を好みます。各地の世界ポリオデーイベントが集団的にメディアに取り上げられれば、ネット上やニュースに「ポリオ」という文字が多くなります。短期間にあちこちで「ポリオ」という言葉を目にすれば、「ポリオって何?」という疑問をもって調べる人も出てくるでしょう。関心や記憶にとどめてもらうには、「繰り返し」目にしてもらうのが効果的です。

2. 「みんなで寄付」

最近では日本でも寄付をしたいと考える人が増えています。金額は小さくても、例えば「1クリックで1円」のように、少しずつ寄付をして人のために役立ちたいと考えているのです。「世界中の人が共通の目標のために寄付する日」とあれば、「自分も…」と寄付しようとする人が出てくるでしょう。

3. ポリオ根絶活動のパイオニア

世界ポリオ根絶推進活動 (GPEI) のパートナー団体である WHO (世界保健機関)、UNICEF (国際児童基金)、CDC (米国疾病対策センター)、ビル&メリンダ・ゲイツ財団も、それぞれに「世界ポリオデー」を推進します。しかし、ロータリーは何といてもポリオ根絶活動の先駆者。率先して模範を示す必要があります。

4. グローバルな運動

ポリオ根絶運動がそうであるように、「世界ポリオデー」は、日本だけでなくグローバルに設定された日です。イベントや活動を計画し、その内容を[こちらのフォーム](#)に入力すれば、日本からもこの運動に大勢が参加していることを世界に示すことができます。ポリオサバイバーの実話に基づく映画『[ブレス しあわせの呼吸](#)』も「世界ポリオデー」への認識向上に結びつけることができます。チャリティー上映会、例会での予告編上映、団体鑑賞会などを行う場合は、「世界ポリオデー」の推進もお忘れなく。

■ポリオとは? 病気の概要 ポリオ(急性灰白髄炎)は脊髄性小児麻痺とも呼ばれ、ポリオウイルスによって発生する疾病です。名前のおり子ども(特に5歳以下)がかかることが多く、麻痺などを起こすことのある病気です。主に感染した人の便を介してうつり、手足の筋肉や呼吸する筋肉等に作用して麻痺を生じることがあります。